

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年12月15日(2016.12.15)

【公表番号】特表2016-505079(P2016-505079A)

【公表日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【年通号数】公開・登録公報2016-011

【出願番号】特願2015-541809(P2015-541809)

【国際特許分類】

C 08 L 83/04 (2006.01)

C 09 J 183/04 (2006.01)

C 09 J 11/06 (2006.01)

C 08 K 5/3492 (2006.01)

C 09 D 183/04 (2006.01)

C 09 D 7/12 (2006.01)

【F I】

C 08 L 83/04

C 09 J 183/04

C 09 J 11/06

C 08 K 5/3492

C 09 D 183/04

C 09 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月24日(2016.10.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

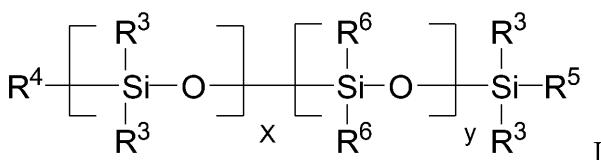
【請求項1】

a) 95~99.9重量部のシリコーンポリマーと、

b) 0.1~5重量部のハロメチル-1,3,5-トリアジンと、を含み、これらの合計が100重量部であり、

前記シリコーンポリマーが、式I又は式IIのものから選択される、放射線硬化性組成物。

【化1】



[式中、R³は、それぞれ独立して、アルキル基、アリール基又はアルコキシ基であり、R⁴は、H、アルキル基、アリール基、アルコキシ基、又は、エポキシ、アミン、ヒドロキシ基を含む官能性基、又は-Si(R³)₂R⁵であり、]

R⁵は、H、アルキル、アリール、アルコキシ基、又は、エポキシ、アミン、ヒドロキシ基を含む官能性基、又は-Si(R³)₂R⁵であり、]

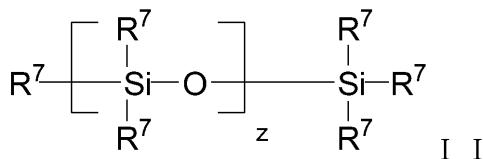
R⁶は、H、アルキル、アリール、アルコキシ基、又は、エポキシ、アミン、ヒドロキ

シ基を含む官能性基、又は $-Si(R^3)_2R^5$ であり、

y は、0 ~ 20 であり、

x は、少なくとも 10 である。】

【化 2】

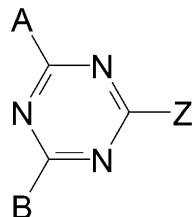


[式中、各 R^7 は、独立して、アルキル、アルコキシ、アリール又は官能性基であるが、ただし、少なくとも 1 つの R^7 基は、ヒドリド基、アミン基、ヒドロキシ基及びエポキシ基からなる群から選択される官能性基であり、残りの R^7 は官能性基ではなく、z は、少なくとも 10 である。】

【請求項 2】

前記ハロメチル-1,3,5-トリアジンが、以下の式を有する、請求項 1 に記載の放射線硬化性組成物。

【化 3】



[式中、A は、モノ、ジ、又はトリハロメチルであり、

B は、A、-N(R^1)₂、-OR¹、R¹、L-R^{增感剤}又は-L-R^{P I}（式中、R¹ は、H、アルキル又はアリールである）であり、

Z は、共役発色団、L-R^{增感剤}、又は-L-R^{P I}であり、

L は、共有結合又は（ヘテロ）ヒドロカルビル連結基であり、

R^{增感剤} は、化学線を吸収することができる増感剤部分であり、

R^{P I} は、化学線に曝露した際にフリーラジカル又はイオン性連鎖重合を開始することができる光開始剤部分である。】

【請求項 3】

A 及び B が、トリクロロメチルである、請求項 2 に記載の放射線硬化性組成物。

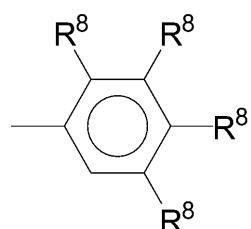
【請求項 4】

Z が、アリール基である、請求項 2 に記載の放射線硬化性組成物。

【請求項 5】

Z が、以下のものである、請求項 4 に記載の放射線硬化性組成物。

【化 4】



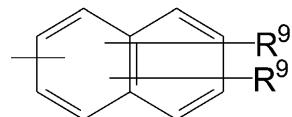
[式中、各 R^8 は、独立して、H、アルキル又はアルコキシであり、前記 R^8 基のうちの

1～3個は、Hである。】

【請求項6】

Zが、以下のものである、請求項4に記載の放射線硬化性組成物。

【化5】



[式中、各R⁹は、独立して、H、アルキル又はアルコキシである。】

【請求項7】

Zが、L-R^{増感剤}である、請求項2に記載の放射線硬化性組成物。

[式中、Lは、増感剤部分をトリアジン核に連結する(ヘテロ)ヒドロカルビル基を表すが、ただし、前記トリアジン核の発色団は、共有結合又は共役結合によって直接、前記R^{増感剤}の増感剤部分の発色団に結合することはなく、

R^{増感剤}は、シアニン基、カルボシアニン基、スチリル基、アクリジン基、多環式芳香族炭化水素基、ポリアリールアミン基又はアミノ置換カルコン基を表す。】

【請求項8】

Zが、L-R^{P^I}である、請求項2に記載の放射線硬化性組成物。

[式中、Lは、増感剤部分をトリアジン核に連結する(ヘテロ)ヒドロカルビル基を表し、R^{P^I}は、水素引き抜き型光開始剤基を表す。】

【請求項9】

前記シリコーンが、ポリ(ジアルキルシロキサン)である、請求項1に記載の放射線硬化性組成物。

【請求項10】

前記シリコーンが、ヒドロキシ末端ポリ(ジアルキルシロキサン)である、請求項1に記載の放射線硬化性組成物。

【請求項11】

前記シリコーンが、アミン末端ポリ(ジアルキルシロキサン)である、請求項1に記載の放射線硬化性組成物。

【請求項12】

基材上の、請求項1に記載の放射線硬化性組成物を含む硬化コーティング。

【請求項13】

200g/インチ未満の剥離試験値を有する、請求項12に記載の硬化コーティング。